

キャリアプロジェクトからの紹介です。…ヨ

☆☆☆ 「音楽関係の仕事って？」



子どもたちに考えてもらった「100の仕事」の中には、ピアニスト、音楽家、ギタリスト等々音楽に関連する職業を書いていた子どもたちもいました。ピアノを習ったり、ダンスを習ったりと子どもたちは音楽に関連する習い事に通っている子どもも結構います。しかし、それを「プロの職業として収入を得る」ことはそうたやすいことではありません。そこで、今回は昨年、ジャズを通して「人種差別」について考える機会をもったときに来校してもらったジャズユニットの「In the peace」の小阪淳平さん(ギタリスト)、と西山由唯さん(ヴォーカリスト)に来てもらい、キャリアプロジェクトとして「音楽に関連する仕事」についてお話を聞かせてもらいました。この世界に入ったきっかけや、学生の頃の話、人のつながりのこと、楽しさや苦労等々

子どもたちの質問に答える形で進めてもらいました。その中で、お二人の演奏(歌)を聞かせてもらう場面もあり、子どもたちは「プロの音楽」の世界の素晴らしさと厳しさを少しは実感できたようです。

【子どもたちの感想から】

- ※「音楽だけで色々な国とつながることができる」、「個性を忘れないこと」というお話しが印象に残っています。
- ※とても楽しく学ぶことができました。有難うございました。…ギターの演奏や歌を近くで聴くことができとても良かったです！私は将来、「建築」で海外へ行こうと考えているのでそこで出会えたらすごいです！
- ※音楽の仕事をしていく上で「大切なこと」を教えていただいたり、アドバイスをしていただき有難うございました。淳平さんの弾くギターが80年前のものでそれをみることができたり、由唯さんの弾ハーモニカ(ブルーススケール)の音をはじめこんな近くで聴くことができたりしてよかったです！
- ※…自分のやりたいことは突き進んでやる！他人にどう言われても、自分に自信をもって行動することが大切だと思いました。
- ※淳平さんのギターとゆいさんのハーモニカはめっちゃリズムにのっててすごく楽しかったです。家にハーモニカがあるけど、弾き方がわからなくてずっとおいたままでしたが、練習してみたいと思いました。将来の夢として「音楽関係の仕事」も考えてみようとおもいました。

☆☆☆ 「絵本の翻訳ってどんな仕事？」

「翻訳」という仕事も子どもたちにとっては興味のある仕事の一つのようです。しかし、外国語を日本語に訳すということしか頭には浮かばないことが多いです。昨年も来て頂いた、海外の絵本を翻訳されている津田優子さんにお越しいただき、翻訳家の方が具体的にどんなふうに仕事をされているのかをお話ししていただきました。

翻訳していく楽しさや難しさをはじめとして、実際に翻訳されて出版された絵本を持ってきていただき、その本が出版されるまでの過程をお話しいただいたので、子どもたちは「翻訳家」という職業の具体的なイメージをもつことができました。

【子どもたちの感想から】

- ※津田さんが翻訳した本『It's ok to be different』はとてもカラフルで絵がカワイイし短い文章なのでとても読みやすくおもしろかったです。…1冊を翻訳するのに3、4ヶ月かかるというのを聞いて大変な仕事なんだなと思いました。私も津田さんみたいな翻訳家になりたいです！
- ※…今日はお忙しい中来ていただき有難うございました。面白、楽しく『翻訳』のことを教えていただいてとてもうれしかったです！1冊の本に3ヶ月~4ヶ月くらいかかるというのを聞いてとても疲れる仕事なんだなあと感じました。…津田さんが昔、体育の先生になりたかったという夢をきいてビックリしたけど似合ってるとも思いました。
- ※夢は何歳からでももっていいという言葉が印象に残っています。

To be continued (次号に続きます)

